

州

名前

(2015年 千葉県公立入試 類似)

1. ブラジル 2. アルゼンチン 3. オーストラリア 4. 南アフリカ共和国

類似)

1. バイオ燃料は石油などの化石燃料に比べて燃焼効率が極めて高く、二酸化炭素を全く排出せずに自動車も走行させることが可能であるため。
2. 植物は成長過程で二酸化炭素を吸収するため、燃焼時に二酸化炭素を排出しても大気中の総量に影響を与えないという考え方があつたため。
3. バイオ燃料の原料となる植物の栽培は、熱帯雨林の開墾を抑制し、野生動物の保護に直接的に寄与する仕組みとなっているため。
4. さとうきびやとうもろこしを燃料として利用することで、大気中の窒素を酸素に変換し、オゾン層を保護する効果が得られるため。

(2019年 長野県公立入試 類似)

1. 広大な国土面積を持ちながら、鉄鉱石の産出とともに近年はIT産業の発展が著しい南アジアの国である。
2. 世界最大の国土面積を持ち、原油や天然ガスなどのエネルギー資源の輸出が経済の大きな柱となっている。
3. 鉄鉱石の生産量が世界全体の約3分の1を占めるなど、豊富な地下資源を背景に輸出を伸ばしている。
4. 広大な乾燥帯の土地を活用した羊毛の生産が盛んであり、鉄鉱石や石炭の産出量は多いがオセアニアに位置する。

(2019年 佐賀県公立入試 類似)

1. 野生動物の保護を優先するため、リヤマやアルパカを観光用としてのみ飼育し、農業は一切行われていない
2. 平地が少なく農業に適さないため、急峻な斜面をすべて茶の輸出用モノカルチャー農園としている
3. 低地での熱帯病を避けるため、標高3000m以上の高地で大規模な水田稲作と牛の放牧を行っている
4. 標高が高く気温が低いため、寒さに強い作物の栽培や、毛を利用できる家畜の飼育が行われている

(2015年 鹿児島県公立入試 類似)

1. 石炭 2. ポークサイト 3. 原油 4. 鉄鉱石

(2024年 兵庫県公立入試 類似)

1. 英語教育への関心の高まりを受け、訪問者総数と留学生数の両方が大幅に増加した。
2. ビジネス目的の訪問者が急増した一方で、治安への不安から日本人留学生数は減少した。
3. 訪問者総数が減少していても、日本人留学生数は増加を続けていた。
4. ASEAN諸国への留学人気に押され、日本人留学生数と訪問者総数の両方が減少した。

長崎県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 原料となる植物が成長過程で二酸化炭素を吸収するため、燃焼しても大気中の二酸化炭素を実質的に増やさないから。 | 2. 農作物を燃料に加工する工程において、周囲の大気中に含まれる二酸化炭素を吸収して酸素に分解する働きがあるから。 | 3. 石油や天然ガスなどの化石燃料に比べて、燃焼時に発生する熱量が非常に低いため、二酸化炭素の排出もわずかに済むから。 | 4. 燃焼しても二酸化炭素を全く排出せず、排気ガスからは水蒸気のみが排出されるという性質を持っているから。 |
|--|---|---|---|

(2026年 鹿児島県公立入試 類似)

1. 単一民族国家 2. 多文化社会 3. ブロック経済圏 4. 同化政策

(2019年 山口県公立入試 類似)

1. 2014年の生産量は2008年と比較して約1.6倍に増加しており、生産の拡大が続いている。
2. 2014年の生産量は2008年と比較して約1.1倍の微増にとどまり、生産は停滞している。
3. 2010年に生産のピークを迎えた後、2014年にかけては生産量が急激に落ち込んでいる。
4. 2008年から2014年にかけて生産量は一貫して減少しており、指数も100を下回っている。

(2018年 富山県公立入試 類似)

1. シェールガス 2. バイオ燃料 3. 化石燃料 4. 天然ガス

(2023年 茨城県公立入試 類似)

1. イギリスとの経済的な結びつきを強めるために、アジア諸国との交流を制限し、白人を中心とした地域主義の形成を目指している。
2. 広大な国土を開発するために、アジアからの移民を労働力として受け入れる一方で、先住民アボリジニの文化を制限する政策が続いている。
3. 1970年代以降、ニュージーランドの先住民であるマオリの権利を保護するため、アジアからの移民を制限する白豪主義を再強化した。
4. かつては白人優先の政策を採っていたが、現在は先住民アボリジニの伝統を尊重し、アジアなどからの多様な移民を受け入れている。

(2026年 奈良県公立入試 類似)

1. 露天掘り 2. 促成栽培 3. 坑内掘り 4. 輪作

答え合わせ・解説

問1	答え 1 ブラジル	南米大陸において約2億人という巨大な人口規模を持ち、日本にとって重要なとうもろこしの供給源となっているのはブラジルです。アルゼンチンも南米の農業国ですが、人口規模やとうもろこしの輸入統計における存在感からブラジルが特定されます。
問2	答え 2 植物は成長過程で二酸化炭素を吸収するため、 燃焼時に二酸化炭素を排出しても大気中の総量に影響を与えないという考え方があるため。	植物を原料とするバイオ燃料は、燃焼時に二酸化炭素を排出しますが、その二酸化炭素は植物が成長する際の光合成によって吸収されたものです。このため、理論上は大気中の二酸化炭素を増やさないといみなされる「カーボンニュートラル」という考え方が、導入を後押しする大きな背景となっています。ただし、近年の農地拡大による森林伐採が、かえって環境破壊につながるという課題も指摘されています。
問3	答え 3 鉄鉱石の生産量が世界全体の約3分の1を占めるなど、豊富な地下資源を背景に輸出を伸ばしている。	ブラジルは南アメリカ大陸で最大の面積を誇る国であり、その広大な国土には豊富な鉱物資源が眠っています。特に鉄鉱石の産出量は世界シェアの34.7%に達するなど、世界有数の供給源となっています。他の選択肢にあるロシア（世界最大の面積）、インド（南アジア）、オーストラリア（オセアニア）も広大な国土や資源を持ちますが、南アメリカ大陸という位置条件と鉄鉱石の圧倒的なシェアから、ブラジルの特徴と判断できます。
問4	答え 4 標高が高く気温が低いため、寒さに強い作物の栽培や、毛を利用できる家畜の飼育が行われている	アンデス山脈の標高が高い地域では、高度が上がるにつれて気温が下がるため、熱帯に近い緯度であっても冷涼な気候となります。このような環境では、低温でも育つジャガイモなどが貴重な食料源となります。また、リャマやアルパカは厚い毛に覆われており、高地の寒さに耐えられるだけでなく、その毛が人々の防寒着の材料として利用されるなど、環境に適した合理的な暮らしが営まれています。
問5	答え 4 鉄鉱石	ブラジルやオーストラリアは、安定陸塊と呼ばれる古い地質構造が広がっており、製鉄に欠かせない鉄鉱石が豊富に埋蔵されています。特にオーストラリアは露天掘りによる大規模な採掘が行われており、日本にとっても最大の輸入相手国となっています。石炭もオーストラリアで多く産出されますが、ブラジルではそれほど多くないため、両国に共通する主要な資源としては鉄鉱石が適切です。
問6	答え 3 訪問者総数が減少していても、日本人留学生数は増加が続いていた。	オセアニアにおける日本人訪問者の動向を統計的に捉えると、観光客数などの変動に関わらず、学習を目的とした滞在者が一貫して増えているという特徴があります。これは、単なる観光地としての魅力だけでなく、語学学習や異文化理解を目的とした中長期的な教育交流が深化していることを示しています。統計分析においては、全体の数値だけでなく目的別の内訳を比較することで、こうした社会的な背景を読み取ることが可能です。
問7	答え 1 原料となる植物が成長過程で二酸化炭素を吸収するため、燃焼しても大気中の二酸化炭素を実質的に増やさないから。	ブラジルで広く普及しているバイオ燃料は、サトウキビなどの植物を原料としています。植物は成長する際に光合成によって大気中の二酸化炭素を吸収するため、燃料として燃やした際に二酸化炭素を排出しても、それは元々大気にあったものが戻っただけであるとみなされます。この「排出と吸収が差し引きゼロになる」という考え方をカーボンニュートラルと呼び、バイオ燃料は再生可能エネルギーの一つとして、石油などの化石燃料に代わる役割が期待されています。
問8	答え 2 多文化社会	白豪主義を廃止したオーストラリアは、1970年代から「多文化主義」を公式な政策として採用しました。これは、移民が自分たちの元の文化や言語を保持することを認め、それを社会の豊かさとして受け入れる考え方です。現在では、アジア系住民の増加により、経済や文化の面でアジアの一員としての性格を強めています。
問9	答え 1 2014年の生産量は2008年と比較して約1.6倍に増加しており、生産の拡大が続いている。	2008年の生産量81万kLを基準（100）とした場合、2014年の生産量131万kLを指数に換算すると、 $131 \div 81 \times 100 = \text{約}162$ となります。これは基準年から約6割増加したことを示しており、数値および指数の推移から、バイオ燃料の生産量は継続的に増加していることがわかります。
問10	答え 2 バイオ燃料	動植物などの生物資源（バイオマス）を原料として作られる燃料をバイオ燃料と呼びます。ブラジルは世界有数のさとうきび生産国であり、古くからこれを原料としたアルコール燃料の普及が進んでいました。近年では世界的な環境意識の高まりを受け、とうもろこしなどを原料とする生産もさらに重要性を増しています。
問11	答え 4 かつては白人優先の政策を採っていたが、現在は先住民アボリジニの伝統を尊重し、アジアなどからの多様な移民を受け入れている。	オーストラリアは1970年代に白豪主義を廃止した後、先住民であるアボリジニの権利回復や文化尊重を進めると同時に、インドやフィリピンといったアジア諸国からの移民を積極的に受け入れるようになりました。マオリはニュージーランドの先住民であり、オーストラリアの事例とは区別する必要があります。また、経済面でも現在はイギリスよりアジア諸国との結びつきを重視しています。
問12	答え 1 露天掘り	オーストラリアの広大な大地では、鉄鉱石などの鉱産資源が地表に近い場所に比較的平坦に埋蔵されていることが多いため、地表から直接削り取るように採掘が行われます。この方法は、地下深くに穴を掘る坑内掘りに比べて落盤などの危険が少なく、効率的に採掘を進めることができます。